

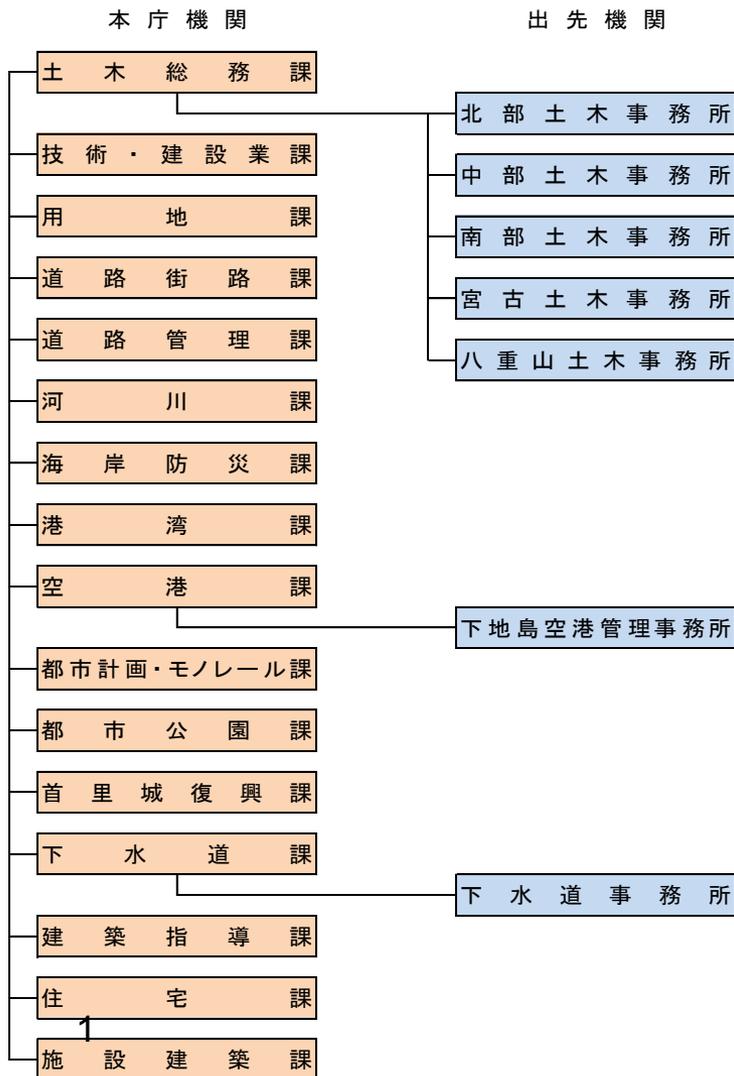


沖縄県職員採用ガイダンス(土木職)

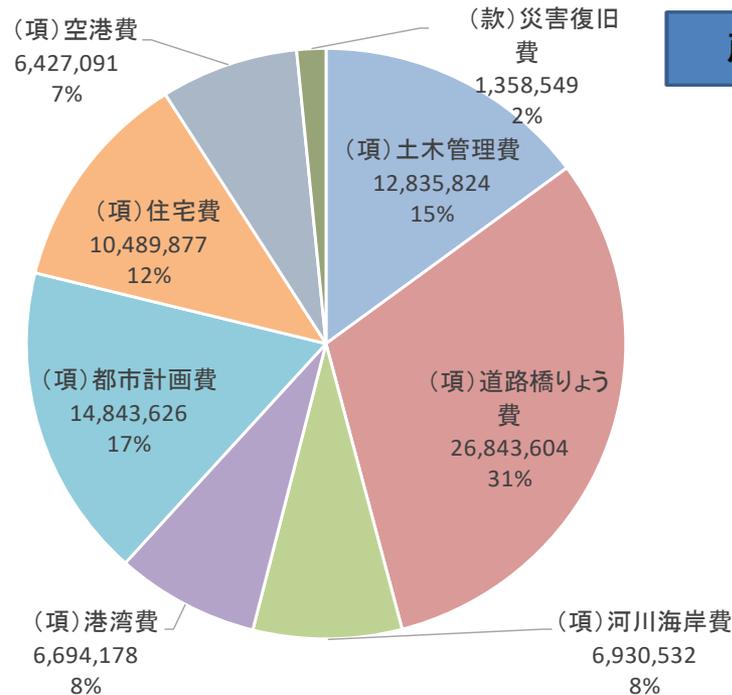


土木建築部の組織と予算

■土木建築部の組織(令和6年4月1日)



本庁：16課、出先：7事務所(754人)



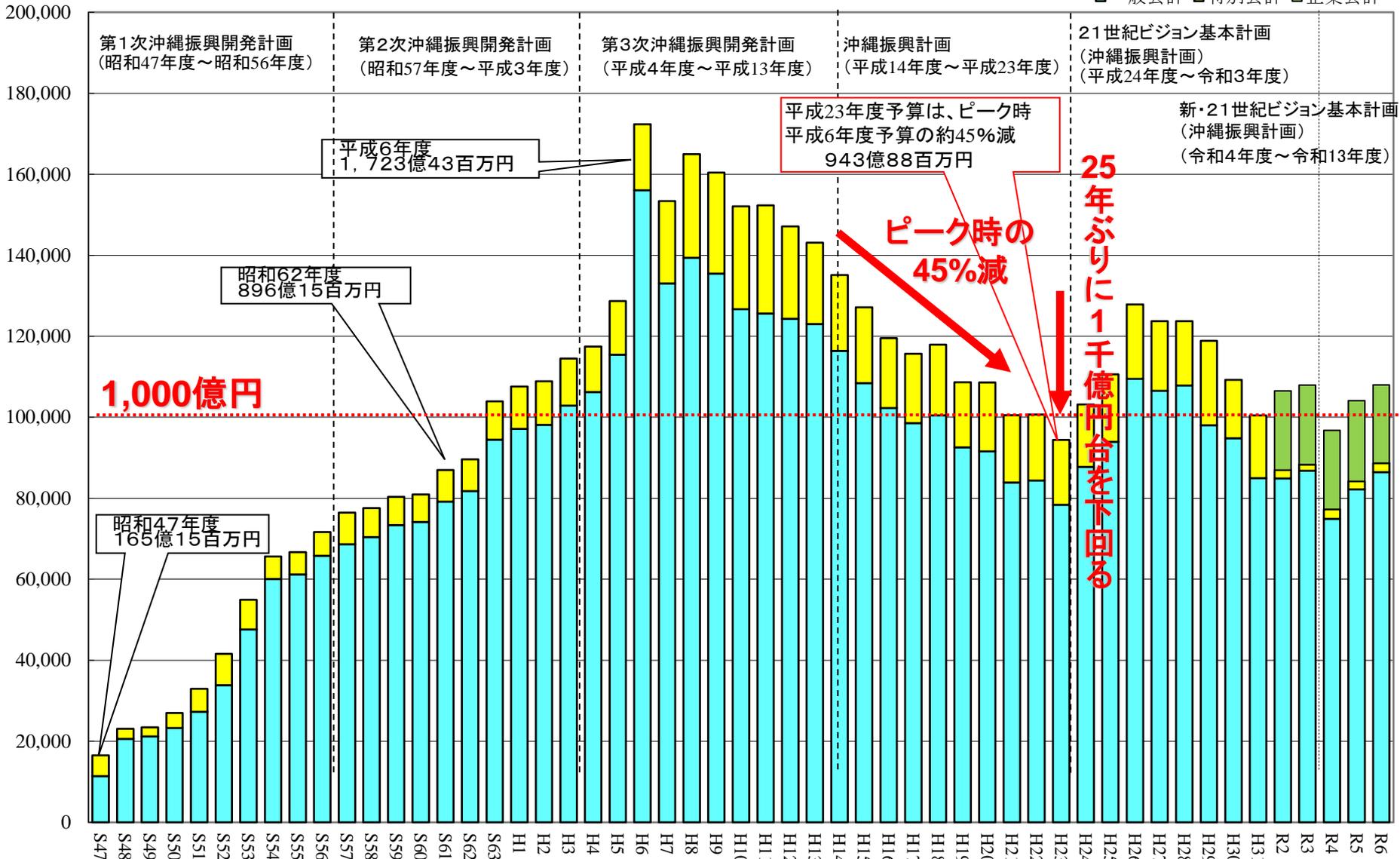
歳出

【令和6年度】

一般会計予算	約 864 億円
特別会計予算	約 23 億円
企業会計予算	約 193 億円
他部局分任予算	約 87 億円
合計予算	約 1,167 億円

土木建築部の予算

(単位：百万円)

■ 一般会計 ■ 特別会計 ■ 企業会計

1,000億円

 昭和47年度
165億15百万円

 昭和62年度
896億15百万円

 平成6年度
1,723億43百万円

 平成23年度予算は、ピーク時
平成6年度予算の約45%減
943億88百万円

 ピーク時の
45%減

25年ぶりに1千億円台を下回る

 新・21世紀ビジョン基本計画
(沖縄振興計画)
(令和4年度～令和13年度)

沖縄振興計画(H14~)以降の主な社会資本整備施設等(完成)

- 平成15年度 ○沖縄都市モノレール開業
- 平成16年度 ○古宇利大橋開通
 - 那覇新都心地区完成
 - 豊見城市地先開発事業埋立竣功認可
- 平成18年度 ○与那国空港(滑走路拡張)供用
- 平成19年度 ○西原マリパーク供用
 - 国道449号名護バイパスの全線開通
- 平成20年度 ○新都心牧志線開通
 - 比謝川水辺プラザ完成
- 平成22年度 ○識名トンネル開通
 - ワルミ大橋開通
- 平成24年度 ○新石垣空港開港
- 平成26年度 ○伊良部大橋開通
- 平成27年度 ○儀間ダム竣工
- 平成29年度 ○具志川環状線開通
 - 浦添西原線(港川道路)開通
- 平成30年度 ○下地島空港ターミナル開業
- 令和元年度 ○都市モノレール延長部開業
- 令和4年度 ○KINサンライズビーチ供用
- 令和5年度 ○モノレール3両編成運行開始



道路



離島架橋



古宇利大橋
(今帰仁村)



伊良部大橋
(宮古島市)



阿嘉大橋
(座間味村)



池間大橋
(宮古島市)

港湾、海岸



都市公園



宮古広域公園(仮称)



沖縄県総合運動公園



平和祈念公園

維持管理・電線地中化

整備前



整備後



整備前

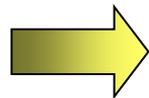


整備後

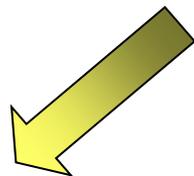


沖縄振興計画の変遷

○第1～第3次
沖縄振興開発計画
(S47～H13)



(開発の文字が除かれた)
○沖縄振興計画
(H14～H23)



(初めて県が主体となり策定)

◎沖縄21世紀ビジョン
基本計画
(H24～R3)

【施策展開の基軸】

- 潤いと活力をもたらす沖縄らしい優しい社会の構築
- 日本と世界の架け橋となる強くしなやかな自立型経済の構築



(新たな沖縄振興計画)

現在

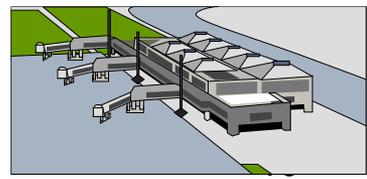
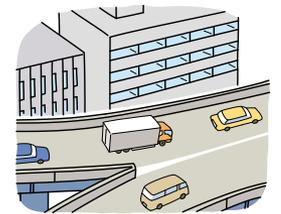
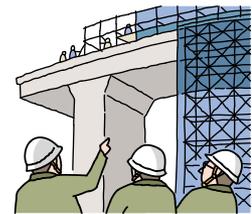
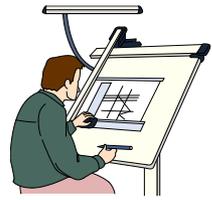
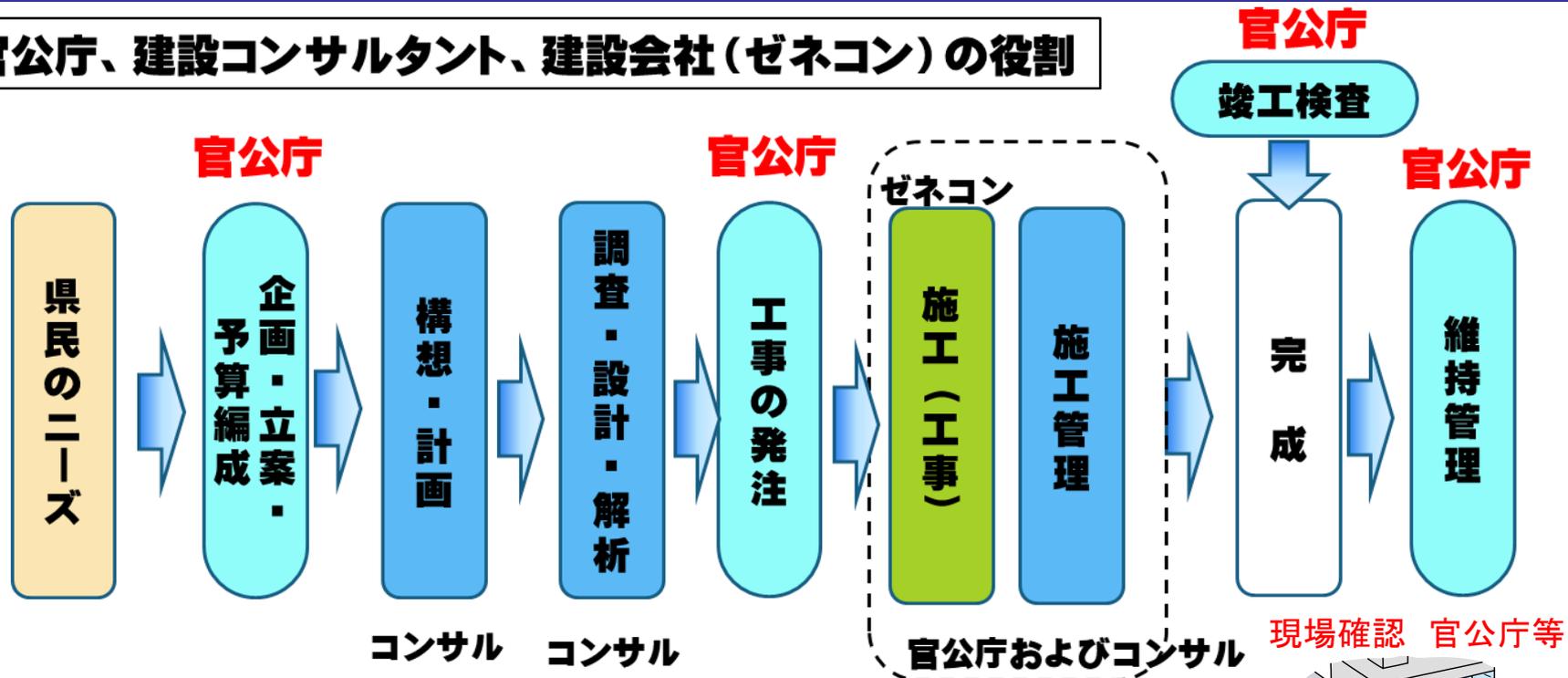
◎新・沖縄21世紀ビジョン
基本計画
(R4～R13)

【施策展開の方向性】

- 平和で生き生きと暮らせる「誰一人取り残すことのない優しい社会」の形成
- 世界とつながり、時代を切り拓く「強くしなやかな自立型経済」の構築
- 人々を惹きつけ、ソフトパワーを具現化する「持続可能な海岸島しょ圏」の形成

社会資本整備(公共事業)の流れと土木系公務員の役割

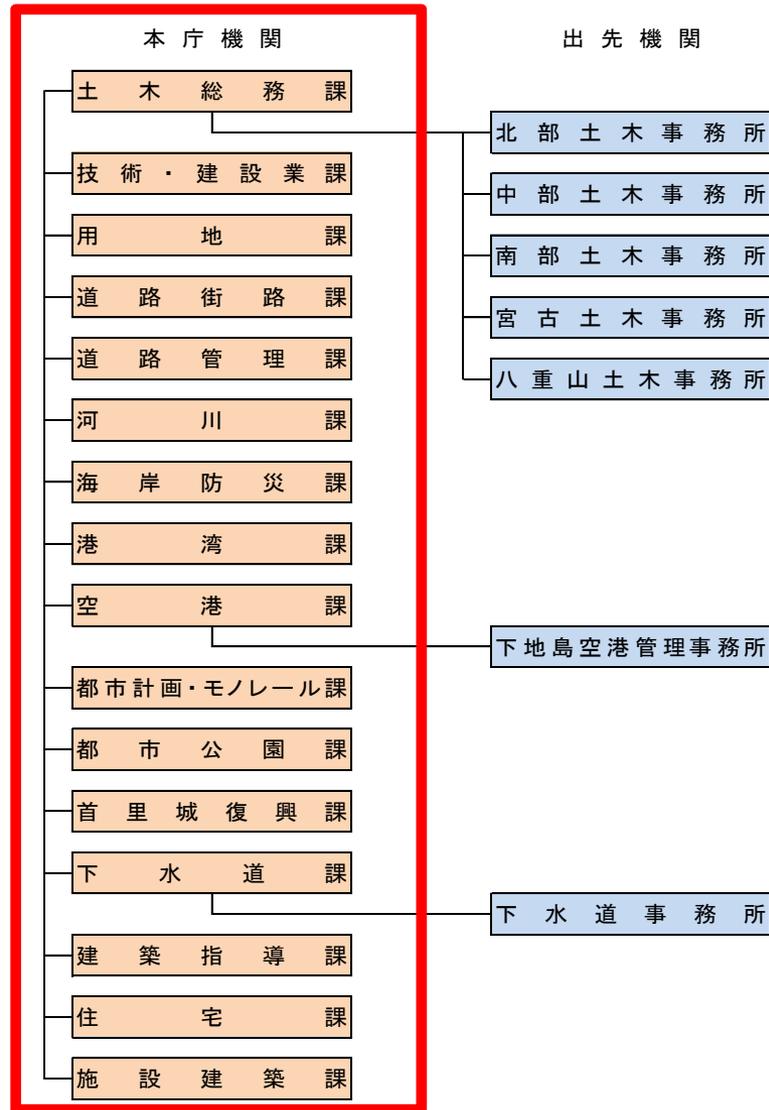
官公庁、建設コンサルタント、建設会社(ゼネコン)の役割



4. 沖縄県土木建築部の組織と土木系公務員の役割について

主な業務内容(本庁各課)

■土木建築部の組織(令和4年4月1日)



業務内容は部署によって大きく異なるが...

主に

- ・計画の策定や基礎調査に関すること
- ・予算要求、事業の進捗管理に関すること
(各事務所との連絡調整)
- ・議会对応

そのほか

- ・国から依頼された調査物への対応
- ・県民からの問い合わせ対応
- ・工事・委託業務発注 等

主な業務内容(土木事務所)

現場監督員の主な役割

○現場状況の熟知

受注者の状況、工事現場の実態を把握する

○現場立会確認

施工条件に応じて、臨場にて確認

○工事の促進

常に工事の進捗状況に注意し、計画工程と
実施工程の照合を行う

○設計図書の変更

設計と現場条件に差異がある場合など、
必要に応じて設計図書の変更を行う

○その他

関係機関との調整、地元との調整 等

沖縄県の土木職員の魅力とやりがい

- 大規模な事業に携わることができる！
- 沖縄のインフラ整備に携わることで
沖縄の発展に貢献できる！
⇒沖縄の持つポテンシャルがインフラ整備によって
最大限に引き出される
- ハード防災の面から、県民の暮らしを支える
⇒県民の生命と財産を守る責任ある仕事
- 沖縄県全域を対象に、
様々な業務、工事に携わることができる！



ご清聴ありがとうございました。

